平成２６年度　学習指導改善調査　第６学年算数【解答】

組	番	氏名

1　数字カード 2 3 4 5 7 があります。このうち４枚を使って，分数のたし算を作ります。

$\frac{ウ}{ア} + \frac{エ}{イ}$

(1)　なみさんは，次のようなたし算を作りました。計算しましょう。

$\frac{2}{3} + \frac{5}{4} =$ $\frac{8}{12} + \frac{15}{12} = \frac{23}{12}$ （$1\frac{11}{12}$）　1－①

(2)　なみさんは，答えが一番大きくなる場合の式を考えています。あてはまる言葉や数字，式を書き，説明を完成させましょう。

できるだけ大きな数どうしをたすと，答えが大きくなるね。

大きな分数を作るには，分母 をできるだけ小さな数に，分子 をできるだけ大きな数にします。だから，アとイには 2 か 3 ，ウとエには 5 か 7 が入ります。式は，式１ $\frac{7}{2} + \frac{5}{3}$ と 式２ $\frac{5}{2} + \frac{7}{3}$ の２種類が考えられます。

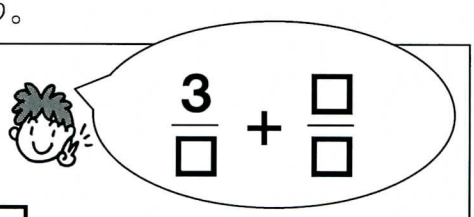
1－②（完答）　1－③（完答）

計算すると，式１の答えは $\frac{31}{6}$ （$5\frac{1}{6}$）， 式２の答えは $\frac{29}{6}$ （$4\frac{5}{6}$）となり，

1－④　式１と答え　　1－⑤　式２と答え

答えが一番大きくなる式は，$\frac{7}{2} + \frac{5}{3}$ です。　1－⑥

(3)　けんさんも，答えが一番大きくなる分数のたし算を作ります。ただし，分子に必ず 3 を使います。あてはまる数字や式を書き，説明を完成させましょう。



答えを大きくするには，分母に入る数を 2 と 4 分子に入る数を 3 と 7 にします。　1－⑦（完答）

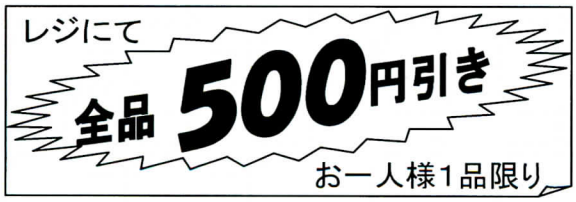
式は 式１ $\frac{3}{2} + \frac{7}{4}$ と 式２ $\frac{3}{4} + \frac{7}{2}$ の２種類が考えられます。

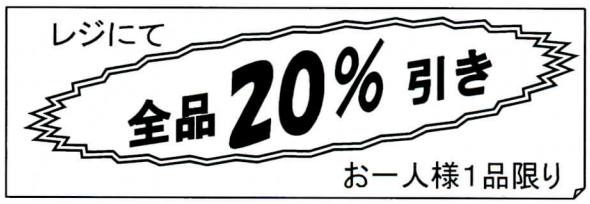
これを計算すると，式１の答えは $\frac{13}{4}$ （$3\frac{1}{4}$），式２の答えは $\frac{17}{4}$ （$4\frac{1}{4}$）となり，

1－⑧ 式１と答え　　1－⑨ 式２と答え

答えが一番大きくなる式は，$\frac{3}{4} + \frac{7}{2}$ です。　1－⑩

2 たかしさんとお兄さんは，サービス券を持ってスポーツショップに買い物に行きました。





※サービス券は，１つの商品に１枚だけ使えます。

(1) たかしさんは，定価2400円のＴシャツを買うことにしました。どちらのサービス券を使うと安く買い物ができるでしょう。式や言葉を入れて，下の説明を完成させましょう。

【たかしさんの場合】

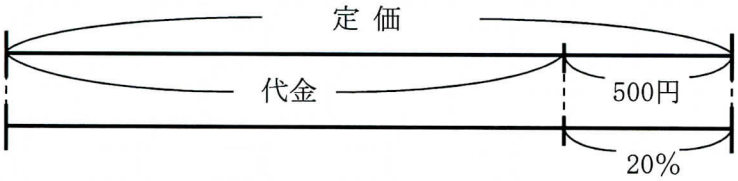
２つのサービス券を使ったときの代金を比べて考えます。

まず，500円引きのサービス券を使ったときの代金を求めます。定価2400円から500円を引くので，代金は [1900　2-①] 円になります。

次に，20%引きのサービス券を使ったときの代金を求めます。定価2400円の20%分の金額は [(式) 2400×0.2　2-②] で，[480　2-③] 円になり，代金は，[(式) 2400－480　2-④] で，[1920　2-⑤] 円になります。

だから，[500円　2-⑥] 引きのサービス券を使った方が安く買えます。

(2) 一緒(いっしょ)に買い物をしたお兄さんは，「ぼくのくつは，どちらのサービス券を使っても同じ代金だったよ」と言っています。お兄さんが買ったくつの定価はいくらだったのでしょう。定価の求め方を言葉と式で説明しましょう。また，答えも書きましょう。



【お兄さんの場合】

500円と定価の20%分の金額が同じということだから，
定価×0.2＝500
定価＝500÷0.2
＝2500
だから，お兄さんが買ったくつの定価は2500円です。　2-⑦　2-⑧　2-⑨

ここは先生用ですので，記入しないでください。

1-①	1-②	1-③	1-④	1-⑤	1-⑥	1-⑦	1-⑧	1-⑨	1-⑩	2-①	2-②	2-③	2-④	2-⑤	2-⑥	2-⑦	2-⑧	2-⑨